

平成30年度 第3回中野市環境審議会 会議録

1 日時

平成31年3月27日（水）午後2時から午後2時40分まで

2 場所

中野市役所 会議室52

3 出席者

【審議会委員】

清野信行会長、小林之美委員、鈴木富夫委員、竹内義明委員、宮沢隆好委員、
小山むつ子委員、山浦克人委員、丸山久治委員、津金裕子委員、山岸恒夫委員、
金井哲雄委員、宮澤なおみ委員、福島芳枝委員

(13名)

【事務局（くらしと文化部環境課）】

小橋くらしと文化部長、竹前環境課長、清水環境課長補佐、小林衛生係長、
衛生係市川主査、衛生係坂本主事、衛生係曲尾主事補

4 傍聴者

なし

5 内容

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 協議事項

中野市一般廃棄物処理手数料について

【課長】 つづきまして、議事に入りますが、進行は、中野市環境審議会条例第6条第1項の規定により、清野会長にお願いいたします。

【会長】 それでは、協議に入ります。

中野市一般廃棄物処理手数料について、協議したいと思います。

前回、事務局から諮問事項について説明を受け、自宅審議としておりましたので、委員の皆様からご質問、ご意見をお受けしたいと思います。ご質問、ご意見はございますか。

【委員】 前回の資料のし尿収集人口について、年々少なくなっているのだが、市ではどういった考えでいるのか。

【課長】 ある程度水洗化が進みましても、（下水道）区域外の地域もございまして、そういった地域については、新築の住宅であっても、合併処理浄化槽を設置しなければ新築できないという事もあり、ある程度までは（し尿収集人口が）少なくなっていくますが、合併処理浄化槽汚泥の処理は必ず残るため、ゼロにはならないという考えでございまして。

【委員】 汚泥（収集人口）の方が増加し、し尿（収集人口）は減少するというイメージか。

【課長】 そうです。

- 【委員】 し尿料金の支払いが困難な方への手当や補助は考えているのか。
- 【課長】 特段、考えてございません。
- 【委員】 今すぐどうこうするという話ではないが、そういった方が出たときに、困らないような対策を整えてほしい。
- 【課長】 し尿や（家庭雑排水）汚泥の処理料金については、全額を利用者が支払う場合、大きな額になってしまうが、そういった部分も勘案しながら、（今回の改定案の料金は）抑えてあるということでご理解いただきたいと思います。
- 【会長】 他にないようですので、諮問に基づいた答申とすることとしてよいか、挙手により決したいと思います。賛成の方は挙手をお願いいたします。
- （全員挙手）
- 【会長】 全員の賛成と認め、今回の諮問に賛成するものと決しました。
- 【課長】 それでは答申案についてですが、諮問書のとおり、中野市一般廃棄物の処理手数料のうちし尿及び家庭雑排水汚泥について別表（案）のとおりとする。ということで承認いただきましたので、内容を精査しながら、（答申案を作成し）正副会長にご確認いただき、それを答申として作成いたしまして、市長の方へ答申させていただきたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。なお、答申書につきましては、後日、委員の皆さまへお送りさせていただきたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。
- 【会長】 それでは、事務局で作成した答申案について、私と副会長で確認した後、来月中を目途に市長へ答申することとしてよいでしょうか。
- （全員挙手）
- 【会長】 それでは、答申案については、私と副会長で確認した後、市長に答申します。
- 以上をもちまして、本日の協議を終えることとし、会議における議長の任をおろさせていただきます。
- 円滑な議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。

(4) その他

- ①牧ノ入地区で計画されている大規模な太陽光発電システムについて
- ②中野市豊津地籍及び飯綱町芋川地籍における廃棄物最終処分場の建設計画について
- ③中野市親川地籍において実施されている土砂及び砂利の採取事業について
- ④環境啓発に係る取り組みについて

(5) 閉会